

2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年1月31日

上場会社名 デジタルアーツ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2326 URL <https://www.daj.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 道具 登志夫
 問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 谷崎 文彦 (TEL) 03-5220-1670
 四半期報告書提出予定日 2024年2月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|-------|------|-------|------|-------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年3月期第3四半期 | 8,322 | 8.7 | 3,122 | △3.3 | 3,132 | △3.4 | 2,162 | △3.3 |
| 2023年3月期第3四半期 | 7,658 | 14.5 | 3,228 | 6.7 | 3,241 | 7.0 | 2,235 | 7.4 |

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 2,166百万円(△3.3%) 2023年3月期第3四半期 2,240百万円(7.4%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年3月期第3四半期 | 155.38 | 152.80 |
| 2023年3月期第3四半期 | 159.25 | 156.10 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2024年3月期第3四半期 | 19,717 | 13,803 | 69.8 | 1,001.13 |
| 2023年3月期 | 21,149 | 14,173 | 66.9 | 1,007.27 |

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 13,768百万円 2023年3月期 14,141百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期 | — | 35.00 | — | 40.00 | 75.00 |
| 2024年3月期 | — | 40.00 | — | — | — |
| 2024年3月期(予想) | — | — | — | 40.00 | 80.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|-------|------|-------|------|-----------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 11,500 | 10.2 | 5,150 | 16.7 | 5,150 | 16.3 | 3,550 | 15.9 | 252.86 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|------------|-------------|------------|-------------|
| 2024年3月期3Q | 14,133,000株 | 2023年3月期 | 14,133,000株 |
| 2024年3月期3Q | 379,630株 | 2023年3月期 | 93,833株 |
| 2024年3月期3Q | 13,919,043株 | 2023年3月期3Q | 14,039,217株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予想が含まれており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、世界経済・競合状況・為替・金利の変動等もかかわるリスクや不安定要因により、実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社ウェブサイトに掲載しております。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 4 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年12月31日)におけるわが国経済は、昨春、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へと移行し、社会・経済活動の正常化が進んだこと等もあり、個人消費や設備投資に持ち直しの動きが見られ、景気が緩やかに回復しつつあります。一方、長期化するウクライナ情勢に加え、中東情勢の緊迫化、外国為替市場での円安基調、資源・資材価格の高騰等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属するセキュリティ業界においては、ランサムウェアやフィッシング詐欺等のサイバー攻撃被害が激化していることやDX推進に伴う業務フロー・働き方の変化による新たなセキュリティ対策ニーズ等を背景として、セキュリティ製品に対する需要が拡大しております。これらは大規模企業や公共機関のみならず、予算面や人材面等を理由に相対的にセキュリティ対策に投資ができていなかった中堅・中小企業においても「サプライチェーン」におけるセキュリティリスクの認識が広まりつつあり、対策のニーズが高まっています。

こうした中、当社は企業・団体規模問わず高まっている多様なセキュリティニーズに対応するため、主力製品「i-FILTER」、「m-FILTER」、「FinalCode」の継続的な機能強化や「i-FILTER@Cloud」におけるCASB機能(クラウドサービスの利用状況の可視化や制御を実現する機能)の搭載等により、独自の次世代SWG(Secure Web Gateway)の展開に注力しました。さらには、従来のAIでは難しかった文章等を自動的に作り出し注目を集めている「生成AI」をより安全に利活用いただくための制御や利用状況を可視化できる「AIチャットフィルター」機能を2023年8月から「i-FILTER」と「i-FILTER@Cloud」に標準搭載し、ご好評をいただいております。

また、トータルセキュリティニーズへの対応のために中期経営計画において掲げていたビジョン「新しい価値創造と需要拡大」を実現するソリューションとして、2023年9月には安心・安全なクラウドサービスの認証やID管理を実現するIDaaS製品「StartIn」、2023年11月には安全なファイル転送で重要情報の外部漏えいを防ぐDLP・ファイル転送サービス「f-FILTER」の提供を開始しました。

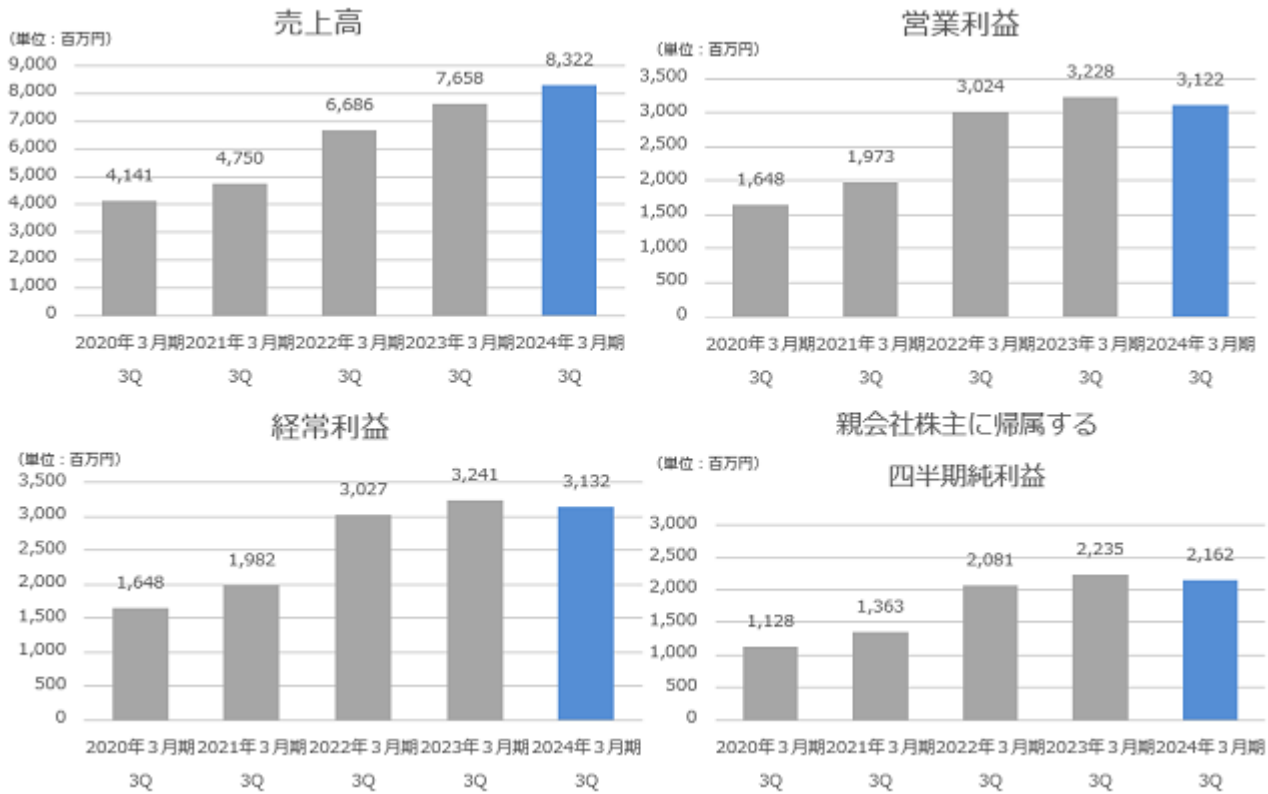
その一方で、過去にない数の新機能追加・新製品リリースに対して積極的に投資したことや、子会社デジタルアーツコンサルティングの事業拡大に伴う労務費・人件費等が増加したことなどにより、売上原価及び販売費及び一般管理費が前年を上回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は8,322百万円(前年同期比8.7%増)、営業利益は3,122百万円(同3.3%減)、経常利益は3,132百万円(同3.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,162百万円(同3.3%減)となりました。

連結経営成績の概況

(単位：百万円)

| | 2023年3月期 3Q | 2024年3月期 3Q | 増減額 | 増減率 (%) |
|----------------------|----------------|----------------|------|------------|
| 売上高 | 7,658 | 8,322 | +663 | +8.7 |
| 営業利益 | 3,228 | 3,122 | △105 | △3.3 |
| 経常利益 | 3,241 | 3,132 | △108 | △3.4 |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | 2,235 | 2,162 | △72 | △3.3 |



各市場の業績は次の通りです。

企業向け市場

企業向け市場においては、境界防御型セキュリティ対策モデルからの移行ニーズや他社からの製品乗換ニーズに対して、「i-FILTER」とオプション製品「Anti-Virus & Sandbox」に加え、新機能「CASB」の提案活動を行い、新規案件獲得が順調に進みました。また、ランサムウェア等の標的型攻撃への対策、PPAP（ファイルをパスワード付きZIPファイルにしてメールで送付し、パスワードを別送するファイルのやり取り）対策、クラウド環境におけるメールセキュリティ対策といったニーズに対応した総合的なセキュリティ機能が評価され、「m-FILTER」の新規案件獲得が好調に推移しました。

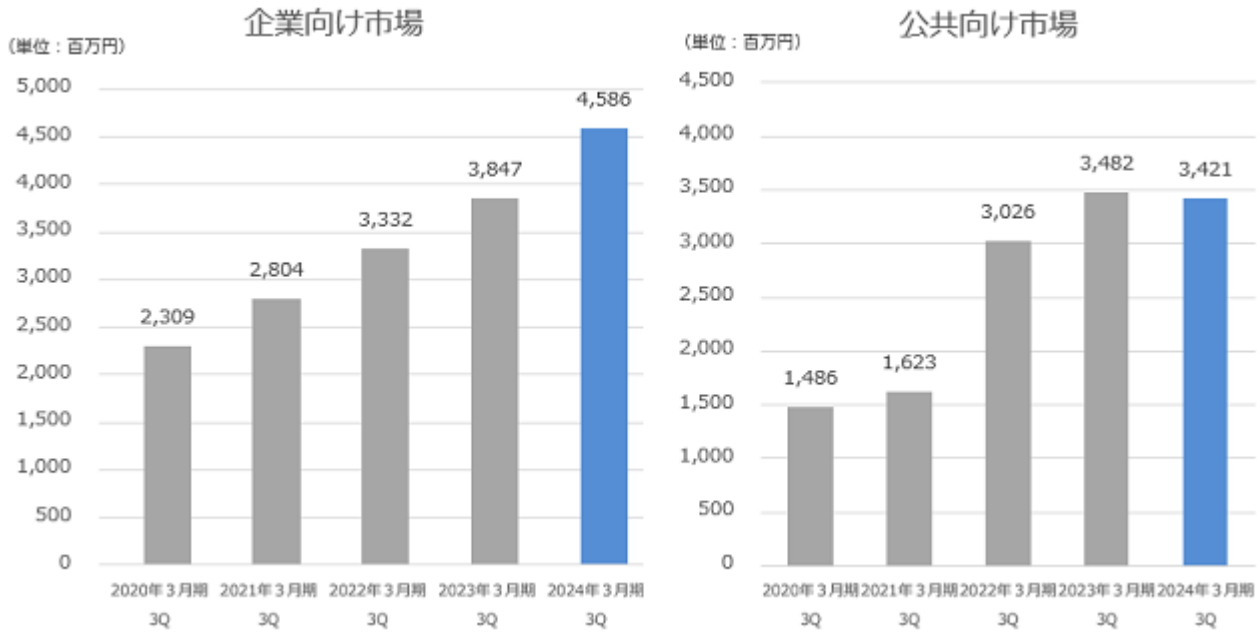
さらにセキュリティコンサルティングサービスを提供している子会社デジタルアーツコンサルティングが、コンサルタント人員の増加に伴い、ISMAP取得関連の案件をはじめ、セキュリティ診断からセキュリティ施策の実行支援まで包括的な支援を行うサービスの提供により、新規案件獲得が急拡大しました。

以上の結果、企業向け市場の売上高は、4,586百万円(前年同期比19.2%増)となりました。

公共向け市場

公共向け市場においては、「自治体セキュリティ強靱化」対策におけるガイドラインに対応したソリューション提案への注力や、「GIGAスクール構想」におけるフィルタリング未導入の教育委員会・学校に対して、教育現場用に独自機能を搭載した「i-FILTER」GIGAスクール版の提案活動を行ったことにより、新規案件を順調に獲得しました。一方で、前期受注した官公庁大口案件の反動や「県庁セキュリティクラウド」案件の一巡による新規案件獲得減の影響も受けました。

以上の結果、公共向け市場の売上高は、3,421百万円(前年同期比1.7%減)となりました。



家庭向け市場

家庭向け市場においては、1つのシリアルIDで複数OSでの利用が可能な「i-フィルターfor マルチデバイス」の販売や受託開発の獲得に注力しましたが、携帯電話事業者やMVNO事業者等からの収入が減少しました。

以上の結果、家庭向け市場の売上高は、313百万円(前年同期比4.4%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,432百万円減少し、19,717百万円となりました。これは主として、現金及び預金が1,057百万円、受取手形及び売掛金が263百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,061百万円減少し、5,914百万円となりました。これは主として、前受金が403百万円、未払法人税等が537百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ370百万円減少し、13,803百万円となりました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加を上回る配当金の支払い及び自己株式の取得があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は順調に推移しており、通期の連結業績見通しにつきましては、2023年5月9日に公表いたしました業績見通しからの変更はございません。

なお、業績見通しにつきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。今後重要な変化がある場合には、適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 17,018 | 15,961 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,574 | 1,311 |
| 製品 | 19 | 0 |
| 貯蔵品 | 3 | 2 |
| その他 | 309 | 145 |
| 流動資産合計 | 18,925 | 17,422 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 209 | 211 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 1,264 | 1,333 |
| その他 | 243 | 249 |
| 無形固定資産合計 | 1,508 | 1,583 |
| 投資その他の資産 | 506 | 499 |
| 固定資産合計 | 2,223 | 2,294 |
| 資産合計 | 21,149 | 19,717 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 238 | 115 |
| 未払法人税等 | 839 | 301 |
| 賞与引当金 | 156 | 120 |
| 前受金 | 5,187 | 4,784 |
| その他 | 502 | 540 |
| 流動負債合計 | 6,924 | 5,862 |
| 固定負債 | | |
| 資産除去債務 | 48 | 48 |
| その他 | 1 | 2 |
| 固定負債合計 | 50 | 51 |
| 負債合計 | 6,975 | 5,914 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 713 | 713 |
| 資本剰余金 | 953 | 956 |
| 利益剰余金 | 12,768 | 13,814 |
| 自己株式 | △308 | △1,730 |
| 株主資本合計 | 14,127 | 13,753 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 為替換算調整勘定 | 14 | 15 |
| その他の包括利益累計額合計 | 14 | 15 |
| 新株予約権 | 11 | 11 |
| 非支配株主持分 | 20 | 22 |
| 純資産合計 | 14,173 | 13,803 |
| 負債純資産合計 | 21,149 | 19,717 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 7,658 | 8,322 |
| 売上原価 | 2,651 | 3,306 |
| 売上総利益 | 5,006 | 5,015 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,778 | 1,892 |
| 営業利益 | 3,228 | 3,122 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 0 | 0 |
| 未払配当金除斥益 | 1 | 1 |
| 為替差益 | 9 | 6 |
| 雑収入 | 1 | 2 |
| 営業外収益合計 | 12 | 11 |
| 営業外費用 | | |
| 雑損失 | — | 1 |
| 営業外費用合計 | — | 1 |
| 経常利益 | 3,241 | 3,132 |
| 特別利益 | | |
| 新株予約権戻入益 | 0 | 0 |
| 固定資産売却益 | — | 4 |
| 特別利益合計 | 0 | 4 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 0 | 0 |
| 特別損失合計 | 0 | 0 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 3,242 | 3,137 |
| 法人税等 | 1,003 | 972 |
| 四半期純利益 | 2,238 | 2,165 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 2 | 2 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 2,235 | 2,162 |

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 2,238 | 2,165 |
| その他の包括利益 | | |
| 為替換算調整勘定 | 2 | 1 |
| その他の包括利益合計 | 2 | 1 |
| 四半期包括利益 | 2,240 | 2,166 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 2,238 | 2,164 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 2 | 2 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。